

## 第4学年音楽科学習指導案

日 時 平成19年10月2日(火)第5校時  
学 級 一関市立舞川小学校  
4年男子16名 女子8名 計24名  
指導者 東海林 三紀

### 1 題材名「ふしの感じを生かして」

### 2 題材について

#### (1) 教材について

本題材は、学習指導要領A表現(2)「曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。」のイ「拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化を感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること」に主にかかわっており、中学年の指導の重点である旋律に焦点を当てながら、旋律の特徴を感じ取る感性を育て、表現を工夫していく能力を高めることをねらいとしている。そこで、本題材では、旋律がもっているいろいろな特徴の中から、レガートとスタッカートを中心に扱い、「滑らかなふし」と「歯切れのよいふし」という対照的な表現を取り上げた学習を展開していきたい。

まず、2つの鑑賞教材「あいのあいさつ」「ピチカート ポルカ」を比較しながら聴いて、旋律の特徴や音楽の気分の違いを感じ取る。次に、鑑賞を通して感じ取ったレガートとスタッカートという対照的な表現方法を、楽器の演奏や歌い方に生かしていく。「陽気な船長」「あたらしいえがお」は、その二つの旋律の感じの違いを生かして表現を工夫することができる楽しい曲である。また、「オーラリー」は、穏やかで落ち着いた雰囲気を感じさせ、滑らかな旋律の感じを生かして演奏するのに適した曲であると考えられる。

以上のように、旋律の特徴を自分の感性を生き生きと働かせて感じ取り、そこで感じた自分の思いを膨らませ、音楽表現力を高められるような学習を目指していきたい。

#### (2) 児童について

明るく素直な子供たちで、音楽の学習についても一生懸命取り組む姿が見られる。音楽を歌ったり演奏したり聴いたりすることが好きな子が多い反面、リコーダーの演奏については技能的な難しさを感じている子もいる。

子供たちは、これまでに旋律の動きを感じながらフレーズの抑揚を感じて歌う学習をしてきた。その中で、旋律線の動きに伴う曲想表現に気付き、次第に表情豊かに歌えるようになってきた。また、「こんなふうにしてみたい」といった自分の思いをもって表現しようとする意欲も見られるようになってきた。しかし、豊かに音楽を感受し、互いのよさを生かしあって音楽的な学びを深める所までは至っていない。

#### (3) 指導について

指導に当たっては、「聴く・感じ取る・表す」の活動の中で、音楽の感受を大事にし、子供が表現したいものをもてるような指導に重点を置き、それを表現の技能の必要性へと子供の意識をつなげていくようにしたい。

音楽を感じ取る段階では、音や音楽がより具体的でわかりやすいものを感じるための手立ての一つとして、動きの表現を取り入れていきたい。音や音楽を目に見える形にすることで、2つの旋律の感じの違いをとらえ、どんなふうに表示したいかを子供自身がはっきりとイメージできると思われる。さらに、歌詞の意味等を考えながらスタッカートの表現方法は、軽快な曲、活発な曲などで「楽しさの表現」や「うれしさの表現」に使われることが多いことにも気付かせるようにしていきたい。

イメージした音楽を表す段階では、自分が感じ取った思いを生かして、歌い方や楽器の演奏での表現の幅を広げられるように指導していきたい。リコーダーであれば息の流れやタンギングに置き換えて考えることができる。また、感受と表現の工夫を繰り返していく活動を工夫することで、音楽表現をより豊かにできると思われる。

最後に、本題材のどの学習においても、一人一人の思いや感じ方、友達とのかかわり合いを大事にしながら、子供たちが主体的・創造的に音楽活動に取り組めるように配慮して指導したい。

### 3 題材の目標

- (1) ふしの特徴に関心をもち、意欲的に聴いたり表現したりする。
- (2) ふしの特徴を感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。
- (3) ふしの特徴を生かして、歌ったり楽器を演奏したりする。
- (4) ふしの特徴を意識しながら、それを生かした演奏や音楽の美しさを感じ取って聴く。

### 4 教材

- ・あいのあいさつ (エルガー 作曲)
- ・ピチカート ポルカ (ヨハン シュトラウス・ヨゼフ シュトラウス 作曲)
- ・陽気な船長 (市川都志春 作曲)
- ・あたらしいえがお (安西 薫 作詞 / 長谷部匡俊 作曲)
- ・オーラ リー (坂田寛夫 作詞 / ジョージ ブールトン 作曲 / 長谷部匡俊 編曲)

### 5 題材の評価規準と学習活動における具体的評価規準

|                 | 観点1<br>音楽への関心・意欲・態度   | 観点2<br>音楽的な感受や表現の工夫度  | 観点3<br>表現の技能  | 観点4<br>鑑賞の能力   |
|-----------------|---|---|---|--|
| 題材の評価規準         | ・ふしの特徴に関心をもって、意欲的に聴いたり表現したりしている。  | ・ふしの特徴を感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。   | ・ふしの特徴を生かして、歌ったり楽器を演奏したりしている。   | ・ふしの特徴を意識しながら、それを生かした演奏や音楽の美しさを感じ取って聴く。  |
| 学習活動における具体的評価規準 | ふしの特徴の違いに関心をもって、意欲的に聴いたり表現をしたりしている。<br>ふしの特徴の違いを生かしながら、自分なりのイメージをもって意欲的に表現活動に取り組んでいる。<br>リコーダーの音色や響きに関心をもって、ふしの特徴を生かしながら意欲的に演奏している。 | ふしの特徴の違いに気付いている。<br>ふしの特徴の違いを感じ取って、身体表現を工夫している。<br>ふしの特徴を生かして、発声や歌い方を工夫している。<br>ふしの特徴を生かしながら、速度や強弱を変えて、イメージに合った表現の工夫をしている。<br>ふしの特徴を生かしながら、フレーズのまとまりや美しい響きを感じ取ってリコーダーを演奏している。 | ふしの特徴を生かして、腹筋を意識しながらのびのびとした声で歌っている。<br>ふしの特徴を生かして、息の使い方やタングングに気をつけながらリコーダーを演奏している。<br>リコーダーでサミング等の奏法を覚えて、美しい音色で演奏している。<br>フレーズのまとまりを大事にして、互いの音を聴きながらリコーダーを演奏している。 | ふしの特徴の違いを意識しながら、楽曲全体を聴き取っている。<br>ふしの特徴の違いを意識しながら、それを生かした演奏や音楽表現のよさを聴いている。<br>ふしの特徴を意識しながら、リコーダーの音色の美しさを感じ取って聴いている。 |

6 指導と評価の計画（10時間扱い）

| 次   | ねらい・学習活動   | 具体的評価規<br>準との関連  | 評価方法等  |
|---|--|--|--|
| 一次<br>(二時間)   | ねらい：ふしの特徴の違いを感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方に生かす工夫をする。  |  |  |
|   | <p>ふしの特徴の違いを感じ取って、聴いたり歌ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいのあいさつ」「ピチカートポルカ」を聴き比べ、ふしの感じの違いに気付く。</li> <li>・「あたらしいえがお」の曲の気分を感じ取って歌う。</li> </ul> <p>感じ取った2つのふしの違いを身体表現で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主なふしを口ずさんだり身体表現しながら聴いたりする。</li> <li>・2つの鑑賞曲のイメージを深める。</li> <li>・「陽気な船長」を聴き、2つの鑑賞曲との共通点を見つける。</li> <li>・音楽のイメージ（ふしの特徴の違い）と動きのイメージをまとめる。</li> </ul> | <p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p><br><p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p><br><p>観点4 -</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（態度や表情）</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（発言や態度）</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> <li>・観察（身体表現の様子）</li> <li>・学習カードへの記述</li> </ul> |
| 二次<br>(五時間)   | ねらい：ふしの特徴の違いを生かして、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫する。   |  |  |
|   | <p>「あたらしいえがお」の歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッカートについて理解する。</li> <li>・歌詞の意味も考えながら、ふしの特徴を生かした歌い方を工夫する。</li> <li>・どのような表現の時にスタッカートに歌うのか話し合う。</li> </ul>  | <p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p><br><p>観点3 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（発言や態度）</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> <li>・学習カードへの記述</li> <li>・演奏の聴取</li> </ul>   |
|   | <p>「陽気な船長」のリコーダーによるスタッカート奏やレガート奏を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主旋律を練習する。</li> <li>・スタッカートやレガートの表現を生かした音の出し方を工夫する。</li> </ul>   | <p>観点1 -</p> <p>観点3 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察(発言や演奏の様子)</li> <li>・演奏の聴取</li> </ul>  |
|   | <p>曲のイメージを話し合い、速さを工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふしの特徴の違いから、船長さんの行動を話し合う。</li> <li>・前半と後半の速さを工夫する。</li> </ul>   | <p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（発言や態度、グループ活動の様子）</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> <li>・演奏聴取</li> </ul>  |
|   | <p><b>強弱を変えて、イメージに合った演奏を工夫する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強弱の工夫を考える。</li> <li>・グループで話し合い練習する。</li> <li>・お互いの演奏を聴き合う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（本時）</p>   | <p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（発言や態度、グループ活動の様子）</li> <li>・学習カードへの記述</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> </ul>   |
| <p>互いの演奏を発表し、よさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏を発表し合う。</li> <li>・表現の工夫やよさを認め合う。</li> </ul>         | <p>観点1 -</p> <p>観点3 -</p> <p>観点4 -</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（態度や表情）</li> <li>・演奏の聴取</li> <li>・学習カードへの記述</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> </ul> |  |
| 三次<br>(三時間)   | ねらい：ふしの特徴を生かして、音楽の美しさを味わいながら演奏する。  |  |  |
|   | <p>「オーラリー」の曲の気分を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーのサミングに気をつけて、高音の練習をする。</li> <li>・レガート奏法で主旋律の練習をする。</li> </ul>  | <p>観点1 -</p> <p>観点3 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察(発言や演奏の様子)</li> <li>・演奏の聴取</li> </ul>  |
|   | <p>主旋律に副次的旋律を重ねて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副次的な旋律の練習をする。</li> <li>・音色に気をつけながら演奏を工夫する。</li> </ul>  | <p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察(発言や演奏の様子)</li> <li>・演奏の聴取</li> </ul>  |
| <p>美しい響きを感じ取りながら合奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・響きを聴き合いながら合わせる。</li> <li>・二重奏をしたり聴き合ったりする。</li> </ul> | <p>観点1 -</p><br><p>観点3 -</p> <p>観点4 -</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（態度や表情、演奏の様子）</li> <li>・演奏の聴取</li> <li>・発言内容の聴き取り</li> </ul>               |  |

7 本時の学習(6/10)

(1) 目標

- ・ふしの特徴を生かしながら、イメージをもって意欲的に表現活動に取り組む。
- ・ふしの特徴を生かしながら、強弱を変えて、イメージに合った表現の工夫をする。

(2) 本時の具体の評価規準と児童の学習状況

| 児童の学習状況<br>具体の評価規準   | (A) 十分満足できると<br>判断する具体的な状況   | (B) おおむね満足できると<br>判断する具体的な状況   |
|--|--|--|
| <p><b>【観点1 - 】</b></p> <p>・ふしの特徴を生かしながら、イメージをもって意欲的に表現活動に取り組んでいる。</p>  | <p>&lt;観察&gt;(グループ学習の状況)</p> <p>・自分なりの考えを積極的に出しながら、意欲的に表現活動に取り組んだり、学習カードに十分記入したりしている。</p>  | <p>&lt;観察&gt;(グループ学習の状況)</p> <p>・自分なりの考えを意思表示しながら、表現活動に取り組んだり、学習カードに記入したりしている。</p>   |
| <p><b>【努力を要する児童(C)への指導の手立て】</b></p> <p>・どのように表現したいのか、教師や周囲の友達と一緒に考えさせる</p>   |  |  |
| <p><b>観点2 - 】</b></p> <p>・ふしの特徴を生かしながら、速度や強弱を変えて、イメージに合った表現の工夫をしている。</p>   | <p>&lt;学習カード&gt;(記入の状況)</p> <p>・表現したいイメージや旋律の特徴をとらえて、強弱の工夫する内容を具体的に記入している。</p> <p>[記入例]</p> <p>・学習カードの の理由と の拠がはっきりした強弱の工夫をしていれば(A)と判断</p> <p>「 アは強い音で演奏した方が忙しそうに動いている様子が伝わるし、イは弱い音で演奏した方が休んでいる感じが表せるから。<br/>アの部分は、同じふしの繰り返しなので、1段目より2段目を強くして変化をつけた方が、イの「弱く」がはっきり表現できる。」<br/>イの終わりは、音が高くなっているの、だんだん強くして演奏する。」</p> <p>&lt;観察&gt;(発言内容や挙手)</p> <p>・曲のイメージや旋律の特徴と表現の工夫(強弱)を結び付けて、良いところを見つけている。</p> <p>[発言例]</p> <p>「イは弱い音でゆったりとした感じで演奏していたので、昼寝をしている船長の様子がよく表れていました。」</p> | <p>&lt;学習カード&gt;(記入の状況)</p> <p>・表現したいイメージに合うように、強弱の工夫を記入している。</p> <p>[記入例]</p> <p>・学習カードの のどちらかの理由を記入していれば(B)と判断</p> <p>「 アは強い音で演奏した方が忙しそうに動いている様子が表せるから。」<br/>「 お昼寝をしている船長を表すには、弱い音で演奏した方が休んでいる感じが伝わるから。」</p> <p>&lt;観察&gt;(発言内容や挙手)</p> <p>・表現の工夫(強弱)という観点から、良いところを見つけている。</p> <p>[発言例]</p> <p>「アは強い音、イは弱い音で演奏していてよかったです。」</p> |
| <p><b>【努力を要する児童(C)への指導の手立て】</b></p> <p>・「 の様子を表すには、強さはどうしたらいいか」を助言したり、周囲の友達と一緒に考えさせたりする。</p> <p>・お互いの演奏を聴き合う場面では、表現の工夫(強弱)に着目した感想もてるように助言する。</p> |  |  |

(3) 展開

| 時間  | 学習内容と主な学習活動   | 指導上の留意点  | 学習活動における評価規準   |
|---|---|--|--|
| 導入<br>10  | 1 既習曲を歌う。<br>・「FACE」を合唱する。<br><br>2 学習課題を把握する。<br>(1) 前時の学習を想起する。<br><br>(2) 「陽気な船長」をリコーダーで演奏する。  | 音楽的雰囲気づくりに努め、次の活動の意欲付けにしていく。<br><br>前半と後半をどのように演奏するか(ふしの感じの違い、速さの工夫)を確認する。<br>工夫したい要素(強弱)が明確になるようにする。  |  |
| 展開<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>32<br><br>終末<br>3 | <div data-bbox="272 663 1310 725" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             アとイの船長さんの様子のちがいがわかるように、音の強さを工夫しよう。           </div> 3 強弱を変えて、イメージに合った演奏の工夫を考える。<br><br>(1) 学習カードに強弱の工夫を書き込む。<br><br>(2) グループで話し合う。<br><br>4 お互いの演奏を聴き合う。<br>・いくつかのグループの中間発表を聴き、そのよさを発表し合う。<br><br>5 学習のまとめをする。<br>(1) 学習を振り返り、感想発表する。<br>(2) 次時の学習内容を知る。 | 学習カードに自分の考えた強弱を記入した後に、グループで演奏しながら考えを交流させる。<br>アとイの大きなまとまりの強さを決めてから、さらに強弱の工夫を考えていくようにする。<br>進みにくいグループには、自分たちの思いに合った演奏ができるようにアドバイスをする。<br><br>アとイの大きなまとまりの強さを全体で確認する。<br>グループで決めた題と強弱の工夫のポイントを話してから発表させるようにする。<br>友達のグループの工夫に気付かせ、自分たちのグループの工夫に生かせるようにしていく。<br><br>子どもたちの工夫についてよかったところを話し、次の活動への意欲を高めるようにする。 | 観点1 -<br>(記入の状況、グループ活動の様子)<br>観点2 -<br>(学習カードへの記述)<br><br><br>観点2 -<br>(発言内容や挙手) |

## 〔グループ学習の進め方〕

約束

みんなに書いたものを見せ合いながら進めましょう。  
一人は、きき役になりましょう。

- 1 アを強い音で、イを弱い音で吹いてみる。
- 2 アを弱い音で、イを強い音で吹いてみる。
- 3 どちらがイメージにぴったりか決める。プリントの を記入。
- 5 特に強くするところを考える 吹いてみる 「強く」の記号をはる。
- 6 特に弱くするところを考える 吹いてみる 「弱く」の記号をはる。
- 7 その他の強弱の工夫を考えてもOK。

## 〔グループ発表の仕方〕 発表者 \_\_\_\_\_

強い音で表現したいのは、  の部分です。

わけは、

からです。

弱い音で表現したいのは、  の部分です。

わけは、

からです。

## 〔アタックコース〕

さらに、強弱を工夫したところは、

|                    |
|--------------------|
| あいのあいさつ / ピチカートポルカ |
|--------------------|

2つの曲のふしは、どんな感じがしたか書いてみましょう。そして、どうして自分がそういうふうにしたのか、理由も書きましょう。

| 曲名  | どんな感じ | その理由 |
|---|-------|------|
| あいのあいさつ<br>エルガー作曲                         | 感じ    |      |
| ピチカートポルカ<br>ヨハン シュトラウス(子)<br>ヨゼフ シュトラウス作曲 | 感じ    |      |

2つのふしの感じのちがいを、友達に言葉ではなくからだの動きで伝えます。どのような動きにしたか書いてみましょう。

| 曲名       | どんな動き？ |
|----------|--------|
| あいのあいさつ  |        |
| ピチカートポルカ |        |

音楽のイメージと動きのイメージをまとめましょう。

| 音楽のイメージ | 動きのイメージ |
|---------|---------|
|         | ←→      |
|         | ←→      |

## あたらしい えがお

に記号の名前と意味を書きましょう。

|     |  |
|-----|--|
| 名 前 |  |
| 意 味 |  |

曲をきいて、スタッカートで歌われているのはどれだと思いますか。

「ゆかいに歩けば」

ゆかいに歩けば うたもはずむ お日さまキラキラ 風もあおい

「もみじ」

秋の夕日に てる山もみじ こいもうすいも 数ある中に

「赤おにと青おにのタンゴ」

秋風の忘れもの 夕焼け ピーヒャララ  
こんもり深い山おくに 風にのってとどいた

「山の音楽家」

わたしゃ音楽家 山のこりす 上手にバイオリンをひいてみましよう  
キュキュ キュキュキュ

「エーデルワイス」

エーデルワイス エーデルワイス ましろな花よ  
きよく 光る 雪に咲く花

どんな表現（どんな感じの曲）とき、スタッカートが多く使われると思いましたか。



**陽気な船長**

前半と後半の船長さんは、何をしていると思いますか。自分たちで船長さんの行動を決めよう。

| アの題<br>「<br>船長」 | イの題<br>「<br>船長」 |
|-----------------|-----------------|
| どんな様子？          | どんな様子？          |

アとイの船長さんの様子のちがいがわかるように、速さを工夫してみよう。

アとイでは、どのような速さで表現したいですか。をつけよう。  
そのほかに速さを工夫できるのであれば、書いてみよう。

ア〔速め・ゆったりめ〕

イ〔速め・ゆったりめ〕

**陽気な船長**

グループの発表をきいて、感想を書いてみよう。

- ・よかったところは何ですか。
- ・ためになったところはどこですか。

|     | よかったところ・ためになったところ<br>( 強弱や速さの工夫、スタッカートやレガートの吹き方 ) |
|-----|---|
| 1 班 |   |
| 2 班 |   |
| 3 班 |   |
| 4 班 |   |
| 5 班 |   |
| 6 班 |   |

もう一度きいてみたいグループはどこですか。そのグループに をつけよう。

1 班          2 班          3 班          4 班          5 班          6 班

そのグループを選んだのはどうしてですか。わけを書こう。

|  |
|--|
|  |
|--|

**陽気な船長**

アとイの船長さんの様子のちがいがわかるように、音の強さ（強弱）を工夫してみよう。

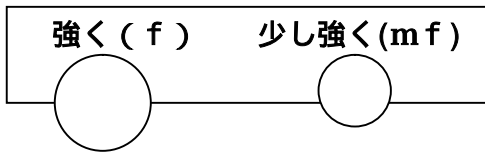
1. <きほんコース>

|      | どちらかに      | そのように考えた理由 |
|------|------------|------------|
| アの部分 | 強い音    弱い音 | わけは、       |
| イの部分 | 強い音    弱い音 | わけは、       |

2. <アタックコース>

アの部分、イの部分でさらに強弱の工夫を考えられる人は、楽ふに書きこんでみよう。

例：



船長

船長

3. <チャレンジコース>

上のように、強弱の工夫を考えたのはどうしてか、理由を書いてみよう。